

モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2017年 8月 31日

通算 174号

三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

8月3日(木曜日)

ナラ枯れ調査と

「I.C.Tチャンネルガイド9月号」掲載記事の校閲

【参加者：池本、梶川、芝田香、中、山本

計5名】

午前中は、遊歩道沿いを中心に「ナラ枯れ調査」を行った。葉が枯れている木、すでに葉を落としている木など、約30本にマーキングテープを取り付けた。今回マーキングしたコナラは冬場に除伐し、薪やシイタケのホダ木に活用する予定。

午後は、「I.C.Tチャンネルガイド9月号」掲載予定のモリメイト紹介記事の校閲をI.C.T担当記者と一緒にいった。モリメイトの活動や思いが上手くまとめられており

9月号の掲載が今から楽しみである。

この写真と一緒に記事が掲載されています



8月10日(木曜日) サギソウが今年も咲きました！

モリメイトフィールド・カストムシの森 周辺の草刈り

【参加者：梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本、鈴木明

計6名】



活動前に、サギソウ園へ立ち寄ると今年もまたポツリポツリと真っ白なサギソウが顔を出しているのを見て心が和む。

サギソウは、日本では環境省により、レッドリストの準絶滅危惧種の指定を受けている。ゴルフ場や宅地開発などによる湿地の消滅、栽培目的の人為的な採集、自然の変化に伴う湿地の乾燥化などにより絶滅した自生地が多く個体数は減少している。

森林公園で自生するこの美しい姿のサギソウを見るたびに、「毎年この場所で咲いてくれ」という思いが大きくなり、自生地を守る大切さを痛感する。

作業は蒸し暑さと闘いながらの草刈りであるが、刈った後に、あたり一面が明るくなり、風が通るときの心地良さは格別である。草刈りの労をねぎらってくれる。



8月17日（木曜日） 看板の付けかえと草刈り

【参加者：池本、芝田香、鈴木哲、中、山本、鈴木明 計6名】



2012年の12月に設置した公園入口の「上野森林公園」の看板が黒く汚れて文字が分かりにくくなっていたので、7月27日に撤去し、補修したものを再設置した。上部50cm位を削った杭2本を打ちこみ、そこに看板を取り付けた。

午後からは先週に引き続き、カブトムシの森周辺（主にクヌギの森の予定地）とモリメイトフィールド周辺の草刈りを行う。草刈り機の音に負けじとセミも鳴き続け、この暑い夏を謳歌しているようであった。

8月19日（日曜日） 森の音楽会代表者会議

森の音楽会（10月15日、日曜日）に出演予定のみなさん（混声合唱団コーロ・Gui、ソプラノ独唱の池澤仁美、沖縄ポップス美ら花）と打ち合わせをした。

8月24日（木曜日） クヌギの森づくりの予定地を整備

【参加者：池本、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、 計6名】

昨日23日は処暑、24節気の一つで暑さが収まる日であったが、暑さが収まるどころか今日はこの夏一番の暑さとなった。

モリメイトフィールド周辺の草刈りと「クヌギの森づくり」の予定地となるところを整備した。枯れた木を除伐し、草を刈り、枝を払うなどの作業をすることで、すっきりとした風の通る場所となった。



8月31日（木曜日） モリメイトフィールド周辺の草刈り

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、野口、山本、鈴木明 計8名】



「I.C.Tチャンネルガイド9月号」のモリメイト紹介の記事を見て、野口さんとがモリメイトの活動を見学に来られた。早速、一緒にモリメイトフィールドの草刈りをしてもらった。

先週までの蒸し暑さはなく、さわやかな秋を感じさせる風に草刈り作業もずっと楽に行うことができた。

草刈りの後は、刈払機の刃研ぎを行った。

梶川さんと池本さんが刃を外し、その刃を研ぎ機2台を使って、横の面は中さんが研ぎ、その後、縦の面を鈴木さんが研ぐという流れ作業で、8枚の刃もあっという間に研ぐことができた。